

日本の南西、はるか六千<sup>キ</sup>離れたスリランカ。一九八〇年代から二十年以上、政府と反政府武装組織の民族紛争が続いている。

武田未央さん(三三)岡山県和気町日室IIは、そのスリランカに、国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市櫛津)の保健師として二〇〇四年から今年七月末まで、計二回滞在。巡回診療や健康教育を担当した。

「あなたには平和な国があるのに、何でこんな所に来るの」。そんな言葉を何度も聞いた。それほど紛争は激化

## 岡山の人ありがとう

している。

厳しい状況の中で活動した武田さんには、大切な思い出がある。

一昨年、スリランカ北部のワダカチ

# あかり

という村にある小さな

病院に発電機が贈られた。武田さんは「本当に感動的だった」と振り返る。同時に、病院関係者から

た。岡山県内の募金で購入されたものだ。この病院では対立が激化した一九九〇年から電気がなく、お産や夜間の処置はいつも小さなランプを使って行われてきた。

「岡山の人に伝えて。ありがとう」。岡山からの優しい気持ちは、遠く離れた南の国の人たちに、確かに届いている。(斎藤章一朗)

点灯の瞬間に立ち会った。十四年ぶりにともった電気はまぶしかった。歓声が起こり、みんなの笑顔が光った。

村民が配線を延ばし、近くの小学校でもコンピューターが使えるようにもなった。